

令和6年度 第2回

春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会

日時：令和6年12月17日（火）

午後7時00分から

場所：春光台公民館 1階 講座室

【次第】

- 1 開 会
- 2 市民生活部より「地域まちづくり推進協議会の在り方」について
「春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラム」
- 3 報告事項
 - (1) 令和6年度（4月～現在）の4事業の活動状況について
 - ① 子ども支援実行委員会
 - ② 春光台未来プロジェクト実行委員会
 - ③ 畑づくりプロジェクト実行委員会
 - ④ 春光台地域食堂実行委員会
- 4 その他
 - ・ 交通手段に困っている高齢者への対応について
- 5 連絡事項
 - ・ 第3回まちづくり推進協議会 3月中旬に実施（昨年度は3月17日）
- 6 閉 会

【事前配付資料】

- ・ 資料1 地域まちづくり推進協議会の在り方について
- ・ 資料2 春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラム
- ・ 資料3 子ども支援事業実施報告書等一式
- ・ 資料4 春光台未来プロジェクト事業実施報告書等一式
- ・ 資料5 畑づくりプロジェクト事業実施報告書等一式
- ・ 資料6 春光台地域食堂事業実施報告書等一式

地域まちづくり推進協議会の在り方について

R6 市民生活部地域活動推進課

1 まち協とは？

【設置の経緯】

地域では、町内会や市民委員会などの様々な地域活動団体の取組によって住民の暮らしが守られていますが、各団体では役員の高齢化、担い手の不足や町内会加入率低下など、全国的に見ても共通した、長年の課題が見られます。

地域活動団体の担い手不足に関しては、ひとりの人物が複数の団体の担い手を引き受け、さらに役員を引き受けることで大きな負担となるなど、深刻な課題となっています。

このため、地域住民等が地域の課題を共有し、その解決に向けた方策を検討するとともに、相互に連携しながら、地域特性を生かした個性ある多様なまちづくりを推進していくため、地域まちづくり推進協議会（以下 まち協）を設置しました。

【役割】

(1)地域のまちづくりの推進に関すること。

(2)地域のまちづくりの支援に関すること。

(3)その他市長が必要と認めること。

これらの事項について検討し、並びに意見を交換する。

2 まち協の歴史

まち協は、平成22年度に支所地域、平成24年度に本庁地域に設置され、当初は、まち協自身で補助金を受け取り、まち協自身が事業を行うことができました。

①意見聴取

②審議・意見のとりまとめ

③事業の企画・実行

しかし、平成30年度より市設置の懇談会（意見聴取の場）となり、まち協自身では事業ができず、事業を行う際には実行委員会を立ち上げなくてはならなくなりました。

①意見聴取

3 それぞれの課題認識

①【市】

「地域主導の取組になりづらい」

「構成団体を地域で選ぶこと不可」

～まち協が懇談会となったことで～

「事業実施時に実行委員会が必要となり、組織が複雑化する」

「懇談会は意見聴取の場であり、何かを決定することができない」

②【地域】地域活動の担い手不足が進行、負担感が大きい

4 令和4年度「委員向けアンケート」

前述のような課題に対して、市としてどのように対応すべきか、まち協をどのような形にすれば、より良く活動しやすい体制になるのか、国内全体の流れが「まち協」から「地域運営組織」へと変わってきたことから、今後の組織の在り方を含めて検討するため、令和4年度に「委員向けアンケート」を行いました。

調査期間：令和4年5月中旬から7月下旬

調査対象：全15地域まちづくり推進協議会委員 241人

回答率：82.6%（241人中、199人から回答あり）

【結果概要】

（１）質問：回答者の年齢は？

「70歳以上」が48.2%、「60歳代」が21.6%で、約7割が60歳代以上となっています。

（２）質問：回答者の所属団体はどこ？

「地縁団体（市民委員会など）が46.2%、次いで「福祉団体（子ども、高齢者含む）」が19.6%となっています。

（３）質問：回答者が地域活動に参加する目的は何か？（複数回答）

「地域貢献（課題の解決、活性化）」が188人で94.5%、「自分の知識や経験を生かしたい」が73人で37%、「仲間づくり」が64人で32.1%で、地域へ貢献したいという思いが強そうです。

（４）質問：地域活動を実施する上での課題・問題点と思うものはなんだと

思うか？（複数回答）

「担い手不足」が168人で84.4%、次いで「情報・ノウハウ不足」が75人で37.7%、「活動資金不足」が50人で25%で、**担い手不足の問題は、市の課題認識と一致しています。**

（５）質問：地域まちづくりを地域が担うメリットはなんだと思うか？（複数回答）

「住民ニーズに応じたきめ細やかな対応が可能」「住民同士の親睦が深まる」がともに145人で72.9%でした。また、地域まちづくりの取組について、市より地域が関わることによるメリットが生かされる分野としては、「福祉（高齢者中心）」が134人で67.3%、「交流イベント」が126人で63.3%、「防災、防火」「福祉（子ども中心）」「交通安全、防犯」「環境美化」が100人前後で約50%となっています。

（６）質問：地域まちづくりの進め方（現在と将来）として望ましい姿は何か？

現在の姿は「市と地域が役割分担し協働で取組んでいる」が121人で60.8%、将来では146人の73.4%が、「市の関与を望んでいる」結果となりました。

（７）質問：まち協に関わる取組の成果はどのような感じか？（継続委員のみ回答）

「地域課題の解決や地域の活性化」が82人で41.2%、「他団体との情報共有」が70人で35.2%、「行政との情報共有」が64人で23.1%、「地域活動の充実」が56人、「地域活動に対する住民意識の向上」が55人で共に20%となっています。※%は回答数より算出

（８）質問：まち協に関わる取組の問題点は何か？（継続委員のみ回答）

「住民の認知度向上」が105人で55.5%、「活動の活性化（マンネリ化・地域に必要な活動につながっていないなど）」が81人で42.8%、「運営の効率化（会議が多い・まち協と実行委員会があり複雑など）」が44人で23.2%で、**運営の効率化は、市の課題認識と一致しています。** ※%は回答数より算出

（９）その他、まちづくり全般【自由記載】

複数の回答があったもの：「活動・意見交換の活性化」「若者の参画」「地域負担軽減」

「団体間の連携・情報共有の必要性」「情報発信力の強化」など

裏面へ

5 令和5年度「委員との意見交換」

類似意見は、まとめさせていただきました

令和4年度のアンケート結果を受け、まち協の将来像を検討するに当たり、まち協組織を市の懇談会ではなく地域が自主的に設置し運営する組織（地域運営組織など）へ切り替える選択肢を含めて、地域にとってより活動しやすい組織体制の在り方について、「委員との意見交換」を行いました。
※太字は、特に多かった意見

1 組織の在り方に関して

- ・根本的な部分は、現在のまち協のままで良いのではないか
- ・現在まち協に加わっていない組織（NPOなど）の力を借りられないか
- ・目的に応じて参加者、地域割を変えても良いのではないか
- ・煩雑に活動するのではなく、負担軽減のため無駄なく活動すべきでないか
- ・組織を変えるのではなく、組織に合わせた柔軟なルールで考えていくべき

2 担い手不足軽減

- ・現役世代は多忙であり、地域活動のための組織に入ってくることはないのではなか
- ・どうすれば若い世代を加える（地域活動の担い手として育成する）ことができるか
- ・委員入れ替え時、任期を設ければどうか

3 まち協の運営について

- ・会議の場で、発言しにくい時がある
- ・固定的な内容でなく、様々なことを自由に話あえるようにしたい
- ・地域運営組織となった際、事務負担が心配だ
- ・市の懇談会で弊害が出ているのなら、市が現行のルールを変更すれば良いのでは
- ・コーディネーターを設置し、コーディネーターが中心となり運営してはどうか
- ・地域と市が、協働で進める部分があっても良いのではないか
- ・活動する上で、さらなる補助金が必要である
- ・SNS、WEB会議などを駆使してはどうか
- ・今後、運営を地域に任せた場合、誰がまとめてどう組織するか懸念される

4 エリア割について

- ・別地区（市民委員会）のことには、関係なく思えて意見しにくいのではないか
- ・もう少し小さな区割りの方が良い（中学校区など）と思う

5 情報発信

- ・まち協のPRに力を入れて、認知度を向上させて欲しい
- ・町内会未加入者の情報取得手段について検討すべきだ

6 その他

- ・現時点で、説明にあった地域ビジネスなどを想定した地域運営組織設立は、大きな負担になる（設立できると思えない）
- ・地域活動に参加した人には、経済的メリットがあるようにできないか
- ・新たな組織についての意見交換をするなら、しっかり時間を取るべき
- ・様々な団体が取り組んでいる事業の統廃合が必要だ
- ・事業などを、客観的に評価する仕組みをつくるべきではないか
- ・春光台地域は、地域が運営している公民館が事務局を担っているの、市の懇談会という認識はない
- ・永山はまち協が出来た当初から、前向きに捉えており、やらされ感はない

6 ここまでの内容のまとめ

令和4年度のアンケート、5年度の意見交換の結果、市が課題として認識していた「担い手不足」「複雑化」については、地域と同じ認識でしたが、その他、地域が考える課題は、若者の参画、地域負担の軽減などでした。また、地域が自主的に設置し運営する組織への変更を求める声は多くありませんでした。

- ・**現まち協について見直しすべきといった声もあるが、別組織への移行を求めるほどのものではない**
- ・**新たな担い手を確保したい**
- ・**様々なことを検討できる仕組みが必要**
- ・**まち協の知名度を向上させるべき**

7 今後の進め方

昨年度までは、現在の市の懇談会の仕組みから、地域主体の組織づくり、例えば地域運営組織への移行も視野に、アンケートや皆様との意見交換を行ってまいりました。

その結果を踏まえますと、別組織への拙速な転換は難しく、一方で現状の仕組みにも課題があると認識しているところであります。

今後につきましては、明らかになった課題を解決すべく、地域主体の組織づくりを視野に入れながら、担い手不足や負担感という同じ課題を持つ、町内会や市民委員会などを含め、地域コミュニティの全体像を整理する中で、引き続き検討を進めてまいりたいと考えております。

検討に当たりましては、今後とも、皆様からご意見等を伺うこともありますので、その際はご協力のほど、よろしくお願いいたします。

旭川市役所地域活動推進課

TEL：25 - 6357

e-mail:chiikikatsudo@city.asahikawa.lg.jp

e-mail
二次元コード



地域目標

安心・安全・元気で仲よく暮らせるまちづくり

- ※参考 都市計画マスタープラン
(H29.2改訂)地域づくりの目標
- ・北地域(春光台・鷹の巣地区を含む)
～自然環境と調和する地域づくり
～歴史と文化が生活の身近に感じられる地域づくり
～福祉施設の集積を生かした安心して生活できる地域づくり
～大規模施設の跡地を活用した更新型の地域づくり
～人・物・情報の交流を活発化する地域づくり

1 地域の特性

- 春光台の丘陵地とその斜面は広大な緑の空間となっており、市民の野外活動やレクリエーション、自然とのふれあいの場となっている。
- 住宅地域に隣接して福祉施設が整備され、また、旭川工業高等専門学校が立地しているなど、教育及び福祉関連の施設が集まっている。
- 季節風の影響もあり、冬期の降雪量が多く、気温も低い。

2 地域の基本情報

- 人 口 11,181人 [12位]
- 世 帯 数 5,868世帯 [12位]
- 0～14歳人口 9.4% [12位]
- 15～64歳人口 52.8% [10位]
- 65歳以上人口 37.8% [4位]
- 町内会加入率 79.0% [1位]
- 町 内 会 数 31町内会
- 市民委員会数 2地区
(春光台、鷹の巣福祉村)
- 地域包括支援センター 1施設
(春光・春光台)
- 地区社会福祉協議会 2地区
(春光台、鷹の巣福祉村)
- 民生委員・児童委員協議会 1地区
(春光台)

主 な 市 有 施 設	市全域を対象 とした施設	
	主に地域住民 対象とした施設	春光台地区センター
	文化・スポーツ 施設	春光台公民館
子 育 教 育 施 ・ 設	小・中学校	高台小 春光台中
	高校・大学 特別支援学校	旭川工業高等専門学校 旭川実業高校 北海道旭川養護学校
安 全 安 の 心 施 ・ 設	警察署・消防署	春光台交番
	消防団	第27分団
	除雪センター	春光・春光台・鷹の巣
地域の特徴的な施設		春光台配水場、地域交流ホームYou

※ 数値は、令和5年4月1日現在

※ 順位は、15地域中で数値が大きいほうを上位とする

3 地域資源と特色のある取組

■ 地域資源

- 春光台公園 ●宝くじ公園 ●春光台配水場 ●景観(春光台公園・眺望の丘・鷹栖末広通)
 ●福祉村・北海道療育園 ●千代の山公園(市民プール) ●鷹栖神社 ●自然生態系
 ●三浦綾子文学ゆかりの地(「道ありき」の舞台) ●縄文遺跡(萩ヶ丘遺跡, 春光台遺跡, 末広7遺跡等)

4 地域の現状と課題解決のための取組・市への要望等

■ 福祉, 子育て, 健康づくり, 地域の支え合いの強化

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
地域で子どもを育む意識の向上(全域)	【R6・優先事項】 通学時の子どもの見守り	○(R4～)
	【R6・優先事項】 地域食堂(子ども食堂)での交流	
行方不明者等への対応, 春光台SOS安心ネットワークの強化(全域)	表示板設置等による早期発見, 活動周知, 搜索活動訓練の実施(全域)	○(H27～)
	【R6・優先事項】 春光台未来プロジェクト実施(全域)	○(R2～)
単身高齢者世帯 要支援者世帯の孤立対策 除雪対策(対象世帯の増加)(全域)	【R6・優先事項】 地域食堂(子ども食堂)での交流	
	助け合いネットワークづくり(全域)	
	安心見守り事業(全域)	○
	除雪事業(全域)	○
高齢者の憩い・交流の場の設置, 参加するための移動手段の確保(全域)	助け合いネットワークづくり(全域)	
健康寿命の延長(高齢者の増加)(全域)	ふれあいサロン事業(全域)	○
	スポーツ活動による健康の増進(全域)	○(H24～)
福祉施設から住民へのPR, 情報提供(全域)	健康ウォーキングの内容充実(名所をコースにする等)	
	居場所サロン等の開催による福祉村のPR	
子育てしやすい環境整備(全域)	育児・子育てサークルのPR(全域)	
	サロン事業・子育て支援の充実(全域)	○
	子どもの遊び場の創設(全域)	
	幼児の一時預かり制度の構築(全域)	

■ 教育, 文化, スポーツ振興

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
子どもの食育	【R6・優先事項】 地域食堂(子ども食堂)での食体験	
	【R6・優先】 自身で育てた作物を食する体験	○(R4～)
千代の山公園プールの魅力向上(老朽化)		
健康運動の推進(全域)	軽スポーツ活動の実施・普及啓発(全域)	○(H24～)
文学遺産の知名度向上(全域)	春光台・鷹の巣パークゴルフ同好会の活動充実	
	春光台公園と文学碑, 三浦綾子文庫の紹介	
	彫刻の森の活用	
文学遺産の知名度向上(全域)	三浦綾子文学「道ありき」の舞台である春光台の坂に係る情報収集・調査研究・坂の名称公募等による魅力向上の取組	○(R1～)
歴史遺産の伝承・保全(全域)	縄文遺跡(萩ヶ丘遺跡, 春光台遺跡, 末広7遺跡等)の再発見と周知啓発	

■ 特色のある取組

- フラワーロード事業(春光台及び鷹の巣福祉村地区市民委員会)●総合型地域スポーツクラブ(高台チャレンジクラブ)
- 行方不明者等捜索支援(春光台SOS安心ネットワーク)●イルミネーション点灯事業(あかりロード友の会)
- 福祉施設入居者の地域づくり参加(鷹の巣福祉村地区市民委員会)
- 指定管理者制度による春光台公民館の地域運営(春光台公民館運営理事会)
- 景観に配慮した環境保全型のまちづくり(鷹の巣福祉村環境懇話会)
- 地域の祭(春光台雪まつり, 鷹の巣福祉村フェスティバル, ふるさと春光台まつり, 地区センターまつり)
- 地域総ぐるみの交通安全活動(春光台及び鷹の巣福祉村地区交通安全協会)

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案
子ども支援実行委員会	今回の会議では「地域課題」「取組」について、ご検討いただければと考えております。 ※地域課題や取組として挙がっていますが、情報が古いものがございますので、委員の皆さまに、よりわかりやすいものになればと思っております！！ 例）既に課題が解決している。逆に新たな課題として、こんなものを加えてはどうか？	
春光台SOS安心ネットワーク		
春光台SOS安心ネットワーク 春光台学校運営協議会		
春光台, 鷹の巣福祉村地区市民委員会 春光台, 鷹の巣福祉村地区社会福祉協議会 春光台, 鷹の巣福祉村地区社会福祉協議会		
春光台, 鷹の巣福祉村地区社会福祉協議会 高台チャレンジクラブ		
春光台地区民生委員児童委員協議会 春光台地区社会福祉協議会		

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案
春光台畑づくりプロジェクト		
		【R6・要望】 千代の山プールが老朽化しているため、定期的にメンテナンスを行い、末永く使用できるようにして欲しい
高台チャレンジクラブ		
「道ありき」春光台における足跡 「坂」の名称公募実行委員会		三浦綾子文学「道ありき」の舞台である春光台の坂に文学歴史的遺産として目印を設置 三浦綾子文学「道ありき」の舞台である春光台の坂の草刈りなどの周辺環境の整備
		縄文遺跡(萩ヶ丘遺跡, 春光台遺跡, 末広7遺跡等)の目印を設置

■ 地産地消，商店街の振興，魅力発信，賑わいづくり

地域で認識している諸課題（地域の課題）	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
春光台産農作物の魅力向上	【R6・優先事項】 農作業・自然体験	○(R4～)
千代の山公園，冬場の活用	冬期大チューブ滑り台の整備	
春光台公園の魅力向上	春光台公園を利用した各種事業の展開	
地域の魅力向上（全域）	坂のあるシンボル道路づくり	

■ 基本的な生活環境の確保，環境保全，事故・犯罪の防止，防災

地域で認識している諸課題（地域の課題）	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
市営住宅跡地利用（防犯灯が無くて暗い）		
子どもの安全確保（全域）	こども110番の充実（登下校の見守り等）	○
冬期間の除排雪に係る課題の克服（降雪量多，道路狭く，交通が不便）（全域）	除雪マナーの徹底	
	スノーコミュニケーション活動の推進（全域）	○(R1～)
目印となる物が少なく現在地（住所）の把握が困難（全域）	道路等に目印となる標識等の設置（ゴミステーションに住所表示板を設置）	○(H30)
ごみの不法投棄問題，残しておきたい自然（川，魚など）（全域）		
交通の便が悪い（全域）		
植物保護に向けた環境整備（全域）	陸上自衛隊近文台演習地内の座禅草水芭蕉等の植物保護に向けた周知啓発と限定的な見学の実施	○(R1～)

■ 郷土愛や誇りの醸成・コミュニティ活性化（世代間交流）

地域で認識している諸課題（地域の課題）	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況
【共通課題】 ●人口減少・少子高齢化		
●町内会等の担い手不足 ●個人情報の把握		
高齢化による町内会弱体化への対応（全域）		
祭りや若い親子は多いが企業は少ない（全域）		
世代間交流の機会	【R6・優先事項】 地域食堂（子ども食堂）での交流	
郷土愛育成	【R6・優先事項】 未来を見据えた地域づくり	○(R2～)
サロン事業（集う場）による世代間交流が必要（全域）	【R6・優先事項】 地域の歴史や自然環境の学習	○(R4～)
	春光台地区と鷹の巣福祉村地区の交流事業の実施	○

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案
春光台畑づくりプロジェクト		
		【R6・要望】 冬期間も公園を活用できるよう、大チューブ滑り台のような遊具施設を整備して欲しい
		西側と東側の入口に分かりやすい表示(看板)を設置 (利便性の向上)

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案
		市営住宅跡地の活用方法の検討
各小中学校PTA 地域住民		
春光・春光台地域包括支援センター 北都保健福祉専門学校 森山メモリアル病院		
春光台SOS安心ネットワーク		
		ごみの不法投棄問題
		【R6・要望】 コミュニティバス/乗合タクシーの運行 移動販売バスの運行
春光台、鷹の巣福祉村地区市民委員会 春光台の自然を考える会 春光台商工振興会		

実施 主体	備 考	市への要望・地域からの提案
春光台未来プロジェクト		
春光台畑づくりプロジェクト		
春光台、鷹の巣福祉村地区市民委員会		

5 過去の取組

実施年度	取組・テーマ	実施主体	主な内容
H24	健康ウォーキング週間及び春光台ウォーキングマップの作成・配布	高台チャレンジクラブ	住民の健康増進を目的に健康ウォーキング週間を実施するとともに、地域特性をウォーキングを通して楽しむウォーキングコースマップを作成し、地区市民委員会を通じて全戸配布した。 ※以降、高台チャレンジクラブにて、毎年、同マップを活用した健康ウォーキングが実施されている。
H25 R5	防災心得の作成・配布	春光台・鷹の巣まちづくり実行委員会	住民の防災意識向上を目的に、地震・水害・土砂崩れなど様々な災害に対応するための冊子「防災心得」を消防本部の協力を得て作成し、地区市民委員会を通じて全戸配布した。
H26～ H29	高台通学合宿の開催	高台通学合宿実行委員会	高台小学校4～6年生を対象に規則正しい生活習慣等の習得を目的として、春光台公民館から高台小学校へ通学する通学合宿事業を地域住民・公民館・行政の連携により実施した（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として中止）。 ※毎年、夏季休暇明けの8月下旬に、小学生約20名を対象に実施
H26～R1	多世代ふれあい交流会の開催	多世代ふれあい交流会実行委員会	世代間の交流を深め住民間の絆を育むとともに、地域の公共交通や防災を検討することを目的として、様々な世代、団体が参加するイベントを開催した（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として中止）。 ※毎年、10月下旬に約200名規模で実施
H27	行方不明者捜索用地図の作成	春光台SOS安心ネットワーク	行方不明者の早期発見を図ることを目的として、春光台SOS安心ネットワークが実施する行方不明者の捜索活動に活用するための、捜索専用の地図を作成した。
H29～R1	子ども居場所の設置・運営	「子ども支援」実行委員会 (R2に「子ども居場所事業」→「子ども支援」に変更)	春光台地区及び鷹の巣福祉村地区に住む小学生及び中学生を対象に、元教員等が放課後に学習を支援する「子ども居場所」を設置・運営（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として中止）。
H30	行方不明者捜索時の現在地把握用住所表示板の作成・設置	春光台SOS安心ネットワーク	行方不明者の早期発見を図ることを目的として、現在地の把握を容易にする専用の住所表示板を作成し、地域住民が頻繁に利用する各町内会のゴミステーションに設置した。
R2	「道ありき」春光台における足跡「坂」の名称公募及び目印の作成	「道ありき」春光台における足跡「坂」の名称公募実行委員会	地域に関わりの深い作家である三浦綾子作品「道ありき」を通して、地域住民の春光台地域に対する郷土愛を育むことなどを目的に、同作品の舞台になったと思われる坂道の名称を春光台地域の学校に通学する児童生徒や地域住民に公募し、名称を記した目印を作成した。
R4～R5	災害時要支援者の避難実施訓練事業	多世代ふれあい交流実行委員会	大停電を想定し、自力では避難できない或いは困難である要支援者の避難及びその支援のための訓練を実施

6 地域まちづくり推進協議会の周知・広報

- 市ホームページ内の掲載及びまちづくり推進協議会NEWS（速報版・事業編）の地域内施設への掲示等により周知・広報を行っている。

・春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会ホームページアドレス

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/408/machikyou/d063406.html>

・QRコード



地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	子ども支援実行委員会
2 事業の名称	子ども支援事業
3 実施期間	令和6年5月30日 から 令和6年3月31日 まで
4 事業内容	1 事業概要 ・登下校の子どもたちを守るとともに、地域の人との関わり合いを通して、子どもたちに、社会性を身につけてもらい、自分たちが地域の中でかけがえのない存在であることを自覚してもらう。 ・登下校時の子どもたちとの「あいさつ」や「声かけ」を通して、地域社会の中で人々が気軽に「あいさつ」を交わせるきっかけを作る。 2 実施内容 （1）交通安全週間にあわせた登校時の街頭指導 7月と9月と11月の交通安全週間に、交通安全協会の方々と協力して、小中学生の登校時に地域の10カ所の街頭に立ち、挨拶や声かけ運動を行い子どもたちとのふれあい活動を行った。7月は5日間延べ61名、9月は5日間延べ64名の参加。11月は8日間延べ95名の参加。 （2）街頭指導に関する啓蒙活動 ①地域団体及び春光台中学校パソコン部によるポスター作成 作成したポスターを、春光台公民館に掲示するとともに、ふじスーパー、ホクレン、郵便局、春光台地区センターの協力を得てポスターを掲示をしていただいた。 ②公民館ホームページと市の「まなびネットあさひかわ」に活動状況を掲載した。 ③「まち協だより」を作成し、町内会の回覧を通して、活動理解を図った。
5 成果と課題	<成果> ・高台小学校、春光台中学校、旭川実業高校の児童生徒が元気なあいさつを返してくれ、言葉を交わしたりし、有意義な活動になった。 ・回を重ねるごとに、元気に挨拶してくれるようになった。子どもたちから元気をもらった。 ・黄色のベスト着用で、子どもたちもより一層に交通ルールとマナーを守ろうという気持ちになってくれた。 ・協力者（5名）も増え、街頭場所も10カ所に増えた。 ・ホームページや「まなびネットあさひかわ」や「まち協だより」により、地域の人々の理解が広がり、共感者も増えた。 <課題> ・街頭指導に参加していただける方を増やし、活動の輪を広げていく。 ・停止してくれる車としない車、スピードを出す車もあるので、安全指導をしっかりと行う必要がある。 ・子どもたちの緊張感がなくなる下校時に指導員が立ってはどうだろうか。

① 「子ども支援」事業

事業中間決算書

(単位：円)

区 分	金 額	内 容
補助金	20,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	20,000	

(支 出)

(単位：円)

区 分	金 額	内 容
事務消耗費	14,608	マジック代
活動用品費	5,300	横断旗（10本）
計	19,908	

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	春光台未来プロジェクト実行委員会
2 事業の名称	春光台未来プロジェクト事業
3 実施期間	令和6年6月22日(土)／令和6年11月16日(土)
4 事業内容	1 事業概要 (1) エコチャレンジ「クリーンゴ」 場所：鷹の巣福祉村地区 75名 ・ゴミ拾いとビンゴゲームを合体したゲーム感覚の参加型イベント(継続開催) (2) 春光台未来プロジェクト 場所：高台小体育館 89名(まち協関係者10名) ・多世代にて春光台の未来を語るイベント(継続開催) *10年後「笑顔に満ちあふれた」「優しさに満ちあふれた」「みんなが交流できる」春光台にするために…をスローガンに話し合う 2 実施内容 (1) 鷹の巣福祉村地区の清掃活動 (6月22日) ① チラシ作成と配布 ・チラシを作成し、ライナーに折り込み配布ならびに町内会回覧 ・小中学校の児童生徒に配布 ② 清掃活動 ・6グループを組織し、区域内のゴミを拾う ゴミ収集量4.7kg ・事前に落ちているゴミを想定し、ビンゴカードを作成し、ゲーム感覚で清掃活動を実施 (2) 2030年の春光台のあり方を語る(11月16日) ① チラシ作成と配布 ・チラシを作成し、ライナーに折り込み配布ならびに町内会回覧 ・小中学校の児童生徒に配布 ② 小中学生からの活動報告 「福祉について」…北海道療育園と和が家 「SGDs(春中版)」…Sスマイル(笑顔)・Kカイト(優しさ)・Dドリーム(夢)にち SKDプロジェクト ③ 令和6年度「クリーンゴ」実績活動報告 ④ 春光台の歴史を知る…クロストーク ⑤ グループトーク…未来を見据えて今できることは何か
5 成果と課題	<成果> ・3回目の開催で、場所を鷹の巣福祉村地区とし、春光台全体にイベントが広がってきた(クリーンゴ) ・春光台地区からも参加者があり、親子での参加が見られた(クリーンゴ) ・「公民館ホームページ」、「まなびネットあさひかわ」や「まち協だより」に掲載することにより、地域の人々の理解が広がり、共感者も増えた(共通) ・「クリーンゴ」と「未来プロジェクト」の共通の参加者が増加傾向 ・子どもたちが「福祉」に興味を持ってきた(未来プロ) <課題> ・子どもたちをはじめとする、多世代との交流の大切さを地域に広く啓蒙していく必要性を感じる ・ゴミが少なくなるしない まだまだ継続して開催していく必要がある 2022年*79名*4.1kg 2023年*94名*4.9kg 2024年*75名*4.4kg ・ゴミを捨てにくい地域にしていく(いつもきれいな地域づくり) ・春光台だけでなく、他の地域での広がりを期待する

① 「未来プロジェクト」事業

事業中間決算書

【収 入】 (単位：円)

区 分	金 額	内 容
補助金	1 4 0, 0 0 0	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	1 4 0, 0 0 0	

【支 出】 (単位：円)

区 分	予算金額	決算金額	内 容
会場費	9, 0 0 0	2, 5 0 0	地域交流ホーム「YOU」
通信費	2, 0 0 0	0	
事務用品費	1 0, 0 0 0	1 1, 4 3 0	名札・公印
チラシ作成印刷 配布費	1 0 7, 0 0 0	7 7, 5 6 8	チラシ作成・ライナー折込各 2 回
保険料	1 2, 0 0 0	1, 9 6 0	旭川市社会福祉協議会ボランティア保険
食糧費	0	6, 9 8 0	クリーンゴミ拾い担い手飲料水
計	1 4 0, 0 0 0	1 0 0, 4 3 8	

2024 年度第 5 回春光台未来プロジェクト実行委員会 ～2024 年振り返り会議～（記録）

2024. 12. 04(水)／春光台公民館 2 階会議室

【参加者】小原、栗田、大久保、池田、木下、若林、早坂、日向

【欠席者】松尾、福屋

1. 準備に関して

- * 栗田ゼミが先行して会場作り（高台小の協力）
- * 飛び込みの参加者が多かった(14 名)
- * QRコードでの参加申し込み…当日忘れる傾向が強い…確認メールの必要性がある
- * 模造紙の持ち込み忘れ…大久保氏の所持物で補填

2. 未来プロジェクト当日

* 松岡会長から

高台小学校の経緯について簡単にご説明いたします。

4 年生の担任（近田先生）から 1 年間かけて学習する総合学習において、今年度は自分たちが住んでいる「春光台を知ろう」ということになり、児童らが地図を広げて訪問するところ（北海道療育園と GH 和が家）を決めたそうですが、その中で「福祉」というテーマが出てきました。近田先生は教頭先生との打ち合わせで、学校運営協議会のオブザーバーになっている私と小原さんに声をかけたようです。

7 月 17 日 4 年生児童 75 名が暑いなか高台小から歩いてきました。

療育園の利用者が各棟の園庭に出て園庭ハイキングを楽しんでいるところで 30 分くらい交流をしました。ですから 6～7 人の利用者と職員に、15 人位の児童が周りを囲みように集まり交流しました。熱心な子は職員にいろいろ質問を用意してきたようですが、近付き難い子も多かったようです。

その後、近田先生から再びご連絡をいただき、療育園訪問をフォローするようなお話をしてほしいという要望をいただき、8 月 29 日に 4 年生児童に私から 50 分間ほど、利用者のふだんの様子を撮った動画を交えてお話しさせていただきました。

8 月 29 日 いろいろな障害があること、人は一人では生きてゆけないこと、皆少しづつ助け合っていること、相手の気持ちを考えること、春光台にもいろいろな人が住んでいることなど話してきました。

◇高台小、春中の発表

* 高台小…開催日前日の夜に資料が栗田先生のもとに届く（かなり苦労したのでは？）

発表の内容にインクルーシブに関して触れられていた

* 春光台中…アンケートの集計ならびに分析に、先生の手がかなり入っている

メニメニSKDプロジェクト…いじめ防止活動

自分事として取り組んだ発表

◇クリーンゴ報告

* スライド 8 枚に集約…発表時間の短縮を図った

* どうしても減らないゴミ

◇クロストーク（36 分間の熱弁…最後まで語れなかった）

* 松尾会長…小原さんの作った PT 資料は、地域住民向けにこれからも使ったらいいのではないですか。

* 小原さん、清水さん、福屋さんで念入りな打合せを実施

* 前日までスライド作成に時間を要した

* 中身の濃いトーク…春光台で生まれ育った人たちの生の声…子どもたちにどこまで届いた？

* ステージ上の音響の不備…進行役の音声や自分の声が聞き取れない…要改善

*小原さんのスライドは、ほかのイベントで発表する機会があっても良い

◇グループ討議

*課題が広範囲に広がっている…子どもたちの意見を拾い上げて具現化したい

*文字起こしも含めて、発言内容を整理する…

*提案が多すぎる…大項目に分類して整理する必要がある

3. 2025年…何をやるのか

◇グループワークから見えてきたもの

*松尾会長からの提案…グループワークの内容は知らないのですが私の個人的な意見ですが、2030年に向けて、児童生徒と地域住民が協働で（協力しながら）出来る何か（SDGS関連？）を考えてみるのはどうでしょうか。

また、フラワーロード事業に、企画・準備の段階から参加して、子どもたちの意見を発表してもらったりするのはどうでしょうか。

また、地域行事（例えばハロウィンなど）を子どもたちが企画し、大人がサポートして実行するなど…。

*新しいイベントを立ち上げる必要性は

*フラワーロードが話題に上がる…だがフラワーロードから脱退していく町内会の増加

子どもたちと大人の考えの乖離減少

*今あるイベントを膨らませていくことはどうだろうか

*今後も検討を重ねていく

4. 決算報告

◇まち協関係

◇地域づくり部会関係

*別紙にて報告

5. その他

◇今後の動き

*他地区での活動報告 12月6日(金)…松尾会長発表

*SOS ワーキング会議 12月16日(月) 実施報告

*まち協会議 12月17日(火) 実施報告と中間決算報告

◇未来プロジェクトの詳細

*すべての部分において、文字起こしを依頼して、先ほど届いた内容を精査して、皆さんに配布いたします（栗田先生）

◆参加者へのパン…残り4セット ちょうど良い数

◆「まち協のあいさつ運動」…なかなか浸透しない…不審者扱い
子どもたちに声を掛けられても、気軽に返事しないように指導している

※次回開催予定（2月下旬 場所：公民館）

10年の振り返り地点に差し掛かる 総括を実施し、下期の企画を立案

様式第 5 号－ 2 （第 1 2 条関係）

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名	春光台畑づくりプロジェクト実行委員会
2 事業の名称	畑づくりプロジェクト推進事業	
3 実 施 期 間	令和 6 年 5 月 1 日から令和 7 年 2 月 2 8 日まで	
4 事 業 内 容	○事業概要 子育て世代を中心とした親御さんたちで農業経験者などと春から秋まで、畑づくりを通じて収穫までの世話や食べ物大切さを世代間の交流の中で学びながら、フラワーロードに協力したり春光台の歴史に触れたり、魚釣りなどを通じて豊かな自然を感じながら郷土愛を育んでゆくこと。 【日常的活動】延べ人数 子ども約 120 名 大人約 60 名 畑の土起こし、雑草抜き、石拾い、水やり、苗の支柱たて、畝おこし、草刈など。 【収穫祭】 令和 6 年 9 月 7 日（土） 参加者数：子ども 8 名，大人 6 名 （いも、かぼちゃ、ネギ、トマト、とうきび、しし唐、なす、ピーマン、唐辛子等） 自分たちで育ててきた農作物を収穫。普段、スーパーで見ることのない形の悪い野菜、大（小）きすぎる野菜などもあり、農家さんの苦労を知ることができた。また、嫌いな野菜も、自ら収穫した分は、美味しく工夫して食べることができるなど、子ども達の食育にも貢献できた。地域食堂にも食材となる。 【釣り大会】 令和 6 年 9 月 2 2 日（日） 参加者数：子ども 1 7 名，大人 1 3 名 初めて魚釣りをする子どももいたり、最初はおっかなびっくりだったが、途中からは慣れてきて、自分で餌を付けたり、針から魚を外すことができるようになる。親も夢中になって楽しんでいて。魚を家に持ち帰って飼育している方もいる。 【後片付け】 令和 6 年 11 月 9 日（土）参加人数 子ども 6 名 大人 5 名 ヤーコンの収穫とやぐらの解体、後片付けして冬に備える。地域食堂の食材となる。	
5 成果と課題	○成果 ・継続して畑づくり活動することで、農作物をつくる大切さや食べ物大切さを体感することができた。 ・フラワーロードの草取り（水やり等）や春光台の歴史や魚釣りなどを通して自然に親しむことの大切さを学ぶことができた。 ・世代間交流を図ることができた。 ○課題 ・より多くの方々に周知し、参加していただくよう努めていく。	

収 支 決 算 書

事業の名称	畑づくりプロジェクト推進事業
団体名	春光台畑づくりプロジェクト実行委員会

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B－A)	収入内訳
補助金	60,000	69,364	9,364	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
合 計	60,000	69,364	9,364	

2 支出の部

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 補助対象経費	差 (B－A)	支出内訳
消耗品費	54,400	69,364		14,964	苗、石灰、園芸支柱、苗ドーム、ローリータ ンク等
保険料	5,600	0	0	△ 5,600	
合 計	60,000	69,364	0	9,364	

まちづくり推進協議会 春光台地域食堂実行委員会 報告書

事業名 春光台地域食堂 実施日 5/26、8/18、10/20

事業内容

1、事業概要

- ① 昼食・おやつの調理と食事
- ② 交流あそび

2、実施内容

○第 1 回 5/26（日）

子ども 52 名 学生 27 名 大人 45 名 計 144 名の参加

メニュー:カレーライス、フルーツヨーグルト、かんぱんかりんとう

遊び:ドッジボール、オセロなどボードゲーム、シャボン玉、ブロック遊び等

がみちゃんのヘッドマッサージとセルフメンテナンスのアドバイス

旭川市立大学子どもの未来を考える研究会『みら研』と旭川実業高等学校のボランティアサポートあり。

○第 2 回 8/18(日)

子ども 56 名 学生 35 名 大人 67 名 計 156 名の参加

メニュー：江口ラーメン、おにぎり、漬物

遊び:ポッチャ、ポールヒットゲーム、カード遊び、公園遊び

がみちゃんのヘッドマッサージ・足もみ母さんの足もみとアドバイス

旭川市立大学江口ゼミナール、みら研、明成高等学校のサポートあり。

○第 3 回 10/20(日)

子ども 46 名 学生 26 名 大人 50 名 計 122 名

メニュー：クレープ、おにぎり、スープ

遊び:出張プレーパーク（協力 旭川冒険遊びの会）、ポールヒットゲーム、ドッジボール、ボードゲームなど

『だれでも自宅のできる足もみ講座』開催

がみちゃん、足もみ母さん、とっしーの足もみとアドバイスあり。

みら研、明成高等学校、実業高等学校のサポートあり。

※各回ともにフードパントリー実施。

成果と課題

〈成果〉

- ・色々な団体に関わり、世代間の交流が生まれた。
- ・参加した方からの感想がとても好意的だった。（次回も参加したい、ラーメンが美味しかった等）
- ・小中学校でのチラシ配布で、新規の小中学生の参加があった。
- ・SNS をきっかけに、春光台外のかたの参加もあった。（春光台の s 良さを知っていただく機会）
- ・菊池さん・秋元さん経由から大人の参加もしっかりあった。

〈課題〉

- ・もっと共に作る活動があってもいい
- ・グループ分けを工夫するなど、多世代がもっと交流できる仕組みを考えたい

次回は最終回。2/3 の予定です。

春光台地域食堂 収支報告

第 1 回 5/18	賄材料費	14236 円
	チラシ印刷費	5467 円
	容器包装費	5110 円
	事務用品費	2315 円
	計	27128 円
第 2 回 8/18	賄材料費	32701 円
	チラシ印刷費	4972 円
	容器包装費	4925 円
	事務用品費	7326 円
	ガス料金	16830 円
	講師料金	6000 円
	計	72754 円
第 3 回 10/20	賄材料費	11189 円
	チラシ印刷費	4125 円
	容器包装費	3588 円
	事務用品費	396 円
	講師料金	6000 円
	計	25298 円
	総計	125180 円
	残金	54820 円

1. 補足

- ① 初回ボランティアで入っていただいたマッサージですが、非常に人気だったことと、家庭でできるケア方法を教えてもらいたいという声があり、2 回目からは講師として呼びしています。
- ② 8 月のガス料金は、麺を茹でる専用ガスコンロ使用のため、どうしても必要となりました。